

会場	第1会場 秋田県民会館 大ホール	第2会場 アトリオン 4F 音楽ホール	第3会場 アトリオン 3F 展示室	第4会場 アトリオン B1F 多目的ホール
収容人数	1,740席	700席	195席	195席
8:00	8:00~ 開場・受付			
9:00	9:00~9:50 主題講演Ⅱ-1 私にとって「真の援助」とは 山崎章郎 ●三枝好幸 ◆254	9:00~9:50 講演 4 話し合える現場になるために —ケアにおける倫理的問題をめぐって 濱口恵子 ●高屋敷麻理子 ◆273	9:00~10:00 事例検討 7 「何か死ねるものを出してくれ」 —「死にたい」と繰り返す患者に私たちは どう関わればよいのか 蛇口真理子 ●佐藤隆次 ●高橋加代子 ◆314	9:00~10:00 事例検討 8 希望が叶わず生きる意味を見出 せなかった終末期がん患者の1例 小林さゆり ●原 敬 ●松原貴子 ◆315
10:00	10:05~10:55 主題講演Ⅱ-2 全人的人間理解の軌跡 山形謙二 ●前野 宏 ◆255	10:05~12:00 シンポジウム 6 「ケアの不全感」を掘り下げる 浅野成実 丸山 寛 澤井美穂 中橋 恒 ●岡本信也 ●戸室真理子 ◆304	10:15~11:15 事例検討 9 意思決定能力に疑問を感じた患 者への関わり —レジリエンスの視点から 松本友梨子 ●三宅 智 ●松水裕子 ◆316	10:15~11:15 事例検討 10 ターミナル期の家族ケアの対象 となった学童期の子ども1例 田原一樹 ●福徳雅章 ●梅田 恵 ◆317
11:00	11:10~12:00 主題講演Ⅱ-3 チームワークを育み・高める 田村恵子 ●志真泰夫 ◆256		11:30~12:30 事例検討 11 死をも覚悟して同種移植を受ける 患者の子どもの養育に関する意 思をいかに尊重するか 御牧由子 ●山口龍彦 ●菊池和子 ◆318	11:30~12:30 事例検討 12 統合失調症で外陰がんを発症し 自壊創を抱えた被害意識が強か った事例 花野章子 ●渡辺 敏 ●煙山晶子 ◆319
12:00	12:15~13:00 セミナー5 「心に聴くとは」—スピリチュアルケ アの心得となる寄り添うために 沼野尚美 ●神谷浩平 ◆280	12:15~13:00 セミナー6 生と死と—揺れる日本人の意識 滝野隆浩 ●馬場祥子 ◆281		
13:00	13:30~14:30 市民公開講座 運命を引き受けて生きるという こと 佐々木常夫 ●嘉藤 茂 ◆259			
14:00	14:30~14:40 閉会セレモニー			
15:00				
16:00				
17:00				
18:00				

第5会場		第6会場		ポスター会場	
にぎわい交流館 AU 3F 多目的ホール		にぎわい交流館 AU 2F 展示ホール		アトリオン 2F 美術展示ホール	
280 席		292 席		—	
8:00~ 開場・受付				8:00..	
9:00~9:50 講演 5 生活者としての患者に寄り添って —MSWの立ち位置と役割 正司明美 ● 阿部邦子 ◆274		9:00~9:50 講演 6 聴くための感性と技術を磨く 倉持雅代 ● 高沢洋子 ◆275		8:30~11:00 開場・受付・ポスター展示	
10:05~12:00 企画委員会シンポジウム なぜ間もなくお迎えが来る人に 時間とエネルギーを注ぐのです か? 久保田千代美 市橋亮一 高橋悦堂 副島賢和 ● 小澤竹俊 ◆262		10:05~12:00 国際交流広場 視点の有効性 —生から死まで カール・ベッカー 藤井義博 ● 藤井義博 ◆260		9:00..	
12:15~13:00 セミナー7 地域が病院・家が病室・それを支える訪問看護 —在宅で「自分らしく生きる」を支える看護の本質 原田典子 共著：公益財団法人在宅医療研究会 勇美記念財団 ● 門脇睦子 ◆282		12:15~13:00 セミナー8 死の臨床—アカデミック漫談で思いっ きり笑って気分転換 人星亭 喜楽駄朗 ● 加藤理人 ◆283		10:00..	
				11:00~12:00 ポスター討議 ◆222	
				11:00..	
				12:00~13:00 ポスター撤去 ◆378	
				12:00..	
				13:00..	
				14:00..	
				15:00..	
				16:00..	
				17:00..	
				18:00..	

●は座長・司会 ◆は抄録掲載ページ